

二〇一二年、東証マザーズに上場したエイチームは、その二百二十三日後に史上最短記録で東証一部に市場変更することができました。その年、叔父で陶芸家（岐阜県重要無形文化財保持者）の林正太郎氏に数十年ぶりに会う機会がありました。

叔父が二十代のころ、叔父の兄に当たる僕の父親から言われた言葉、「自分で作ることの喜びを知っているのか」。これが、叔父が製陶業から陶芸家を目指したきっかけだと教えてもらいました。そして、それを今でも、インタビュアーを受けるときに語り続けているのだと。後日、実際に叔父の記事でこの話を読み、父親の死から約二十年以上の時を超

## 叔父からの言葉 最終話

林 高生

え、こんな形で父親から「ものづくりの喜び」の言葉を受け取ることになるとは思いませんでした。

「人に言われた仕事ではなく、自分で考えたサービスを世の中に提供していきたい」。そんな僕のものづくり気質は、陶芸家だった父親から譲り受けたものだと、叔父は父親の代わりに僕に伝えてくれたのです。

早くに亡くなった父親はとても無念だったと思いますが、この出来事を通じ、父親の思いをしっかりと受け取ることができたのです。

これで半年に渡った、僕の「紙づて」の執筆はおしまいです。皆様から絶賛をいただいたこの連載は、惜しまれる中、終了しますが、これが少しでも皆様のお役に立てたなら幸いです。絶賛はうそで本当は自画自賛です。（エイチーム社長）